

# グリーンオアシス大網中段搬入道路設置工事

## 特記仕様書

### 第1章 総 則

#### 第1条 適用

1. この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書（令和5年10月改正）（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

#### 第2条 施工体制

受注者は次の各号について施工計画書に記載しなければならない。

1. 施工体系図及び施工体制台帳
2. その他監督職員が必要と認めた施工体制に係わる事項

#### 第3条 環境対策

1. 工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。
2. 本工事で使用する軽油については、JIS 規格軽油を使用すること。

#### 第4条 設計図書の照査等について

「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）」（令和3年1月改訂（千葉県県土整備部））に基づき照査を実施するものとする。

#### 第5条 設計変更について

設計変更等については、契約書第19条から第25条及び土木工事共通仕様書 第1編共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）」（令和3年1月改訂（千葉県県土整備部））によることとする。

#### 第6条 公共事業労務費調査に対する協力について

1. 本工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する等必要な協力を行わなければならない。

2. 調査票等を提出した事業所を発注者が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者になった場合、受注者はその実施に協力しなければならない。
3. 公共事業労務費調査の対象となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。
4. 受注者が、本工事の一部について下請契約を締結する場合には、元請負者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が第3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

#### 第7条 工事实績情報作成・登録

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上(税込)の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督職員に提出しなければならない。

また、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

#### 第8条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、千葉県県土整備部が定める千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準による。

#### 第9条 工事中の安全確保

工事の施工にあたっては、千葉県「道路工事保安施設設置基準」に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。

1. 工事の施工に際し、地下埋設物件等が予想される場合は、その管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置、深さ等を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止しなければならない
2. 受注者の責により地下埋設物件等に損害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。

3. 資材の搬入・搬出時において、公道の出入口等に必要な応じ誘導員を配置し、安全確保に努めなければならない

#### 第10条 工事現場管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

#### 第11条 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における災害対策訓練
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全・訓練等として必要な事項

#### 第12条 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち、作成する施工計画書に本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。

#### 第13条 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況を報告するものとする。

#### 第14条 工期

工期は、雨天、休日等を見込み、令和7年3月21日までとする。なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

## 第15条 建設副産物処理計画及び実態の確認

1. 「建設リサイクル推進計画2020」（国土交通省）および「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況（実績）については「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。

### ◎作成対象工事

請負金額100万円以上（税込）のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無に関わらず作成する。

2. 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」（千葉県）に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。

なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。

建設副産物の処理後速やかに、「建設副産物処分調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提出し確認を受けること。

3. 建設廃棄物がある場合は、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム（積過目録制）」の実施に基づく建設廃棄物マニフェストD票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、E票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。

## 第16条 付則

仕様書に定めのない事項や、内容に疑義が生じた場合には、監督職員と協議して処理するものとする。

## 第2章 材 料

### 第1条 材料等

受注者は、施工計画書に主要資材一覧とともにその品質を証する資料を添付し監督職員の承諾を得ること。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

### 第2条 使用土砂

本工事で使用する土砂については、事業用地内の砂置場の土砂を使用すること。  
なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議すること。

### 第3条 かごマット規格

#### 1. 既存かごマット規格

品 名	クリンプ金網 (亜鉛メッキ鉄線使用)
使用材料 JIS 規格・記号	亜鉛メッキ鉄線 JIS G 3547 SWMGS-2 2.0mm
規 格	JIS G 3553
亜鉛メッキ鉄線部材寸法	フタ網 (100+500+100) × 2000、胴網 (500+500+500) × 2000
砕 石	単粒度砕石 4号 再利用
組 立	別紙図面参照

#### 2. かごマット修理材料

修理材料	規 格
異形棒鋼	SD345 D16 1.56kg/m
結束線	SUS304 太さ 3.2mm 0.51kg/m

### 第4条 樹脂製敷板 (下記仕様相当品)

寸法 (mm)	総厚 (mm)	断面仕様 (mm)	重量 (kg)	ジョイント 用接続穴
1220×2440	22	厚み 13+表面凸 4+裏面凸 5	40	4φ24 手持ち穴 4 (緊結金具及 び地中アンカ ー含む)

### 第5条 植生シート

肥料袋無し、環境品

## 第3章 施工

### 第1条 一般施工

1. 状況・現況調査など工事着手前に、工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、状況を十分に把握しておくこと。
2. 埋立地内の地盤状態の確認を行うこと。
3. 埋立地内に石材、その他材料の混入がないように対策するとともに、やむを得ず混入した場合は速やかに除去すること。
4. 砂取場周囲及び土砂搬入路等の構造物（U字溝等）の養生に留意し、破損した場合は受注者の責任において修復すること。
5. 砂取場の砂は表層を剥ぎ取り掘削すること。
6. 道路施工や伐木・除根作業等に関し、処分場の生命線である遮水シートの破断・損傷等には特段の注意を払い作業を行うこと。万一破断・損傷等した場合は受注者の責任において修復すること。
7. 毎週水曜日には不燃物の搬入車両（10 t ダンプ）及び山砂搬入車両（10 t ダンプ）が通り、埋立地への搬入道路を利用するので事故のないように留意すること。
8. 本工事の施工にあたりバックホウ、移動式クレーン、ブルドーザを使用する場合は、標準操作方式建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成14年4月1日付国総施設第225号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただし、指定されていない建設機械を使用する場合は監督職員と協議するものとする。また、平成6年9月30日以前に製作された移動式クレーン、平成7年3月31日以前に製作されたブルドーザについては、この限りではない。

### 第2条 路体・路床盛土工施工

受注者は路体・路床の盛土工の施工において、一層の仕上がり厚をそれぞれ30cm以下とし、各層ごとに締固めなければならない。

### 第3条 路面工

樹脂製敷板の敷設は路床面にしっかり張り付けるとともに敷板と敷板との緊結もしっかりと行うこと。

### 第4条 かごマット修理

1. かごマットの修理の際には、シートに直接触れることから損傷等には十分に注意すること。
2. 1/2 勾配での施工のため安全には注意を払うこと。
3. 現状のクリンプ金網（かごマット）の上には乗らないこと。

4. 結束線の切れ端等の落下物はシートを損傷する恐れがあるので落下物をそのままにしないこと。
5. 異形棒のピッチはかごマット断面 500mmのうち下部より 200mm、350mmの位置にセットすること。
6. 異形棒の横の結束ピッチは 500mmピッチとする。また、対面の異形棒との結束はかごの中を通したうえで返し結束すること。

#### 第5条 伐木・除根

伐木除根後、幹・枝については長さ 1m程度に切断し、発注者の指定した場所に運搬・乾燥させるものとする。また、根の部分については砂を払い幹・枝に準じた長さに切断し幹・枝と同じ場所に運搬すること。